

令和6年12月4日
国土交通省
九州地方整備局
鹿児島国道事務所

建設ディレクター制度の取組に関する

講演会を実施します

建設ディレクター制度などの導入による長時間労働削減など、働き方改革の取組を実践している建設会社の経営者を招いて講演会を開催します。

【講習会の概要】

◇講演テーマ：建設ディレクター制度の取組について

◇講師：ヤマグチ（株） 代表取締役副社長 山口秀典氏

【関連受賞歴】

- ・令和6年度建設人材育成優良企業表彰（国土交通大臣賞）
- ・令和6年度ベストプラクティス企業として選定（鹿児島労働局）

◇日時：令和6年12月12日（木） 13：30～15：00

◇場所：鹿児島国道事務所 5階会議室

（鹿児島市浜町2番5号）

◇講演聴講者：鹿児島県内の九州地方整備局の職員、
建設工事に関係する鹿児島県・鹿児島市の職員

※マスコミの方で取材を希望される場合は、別添送信票にてお申込みください。

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 九州地方整備局

鹿児島国道事務所 技術副所長

事業対策官

りゅう ひろふみ
龍 博文

まつお かずとし
松尾 和敏

TEL：099-216-3111（代表）

※報道関係者用

令和6年12月 日

国土交通省 九州地方整備局

鹿児島国道事務所 計画課 宛

(申し込み先)

FAX:099-216-3861 または E-mail: qsr-kakoku-keikaku01@ki.mlit.go.jp

建設ディレクター制度の取組に関する講演会の開催

【取材申し込み】

◆取材参加者

機関名	参加人数	連絡先
		所属(部署)氏名
	名	連絡先 ・TEL ・E-mail

◆申し込み締め切り

令和6年12月10日(火)16時までにご連絡ください。

【参考】建設ディレクターについて

出展：一般社団法人建設ディレクター協会のホームページ掲載より
<https://kensetsudirector.com/about/>

建設ディレクターとは ABOUT

ITとコミュニケーションスキルで現場とオフィスをつなぐ新しい職域 建設ディレクター

建設ディレクターとは、ITとコミュニケーションで現場とオフィスをつなぐ新しい職域です。現場技術者の負担を軽減し、作業の効率化と就労時間の短縮を図る効果的な取組として「働き方改革への取組」にも繋がります。

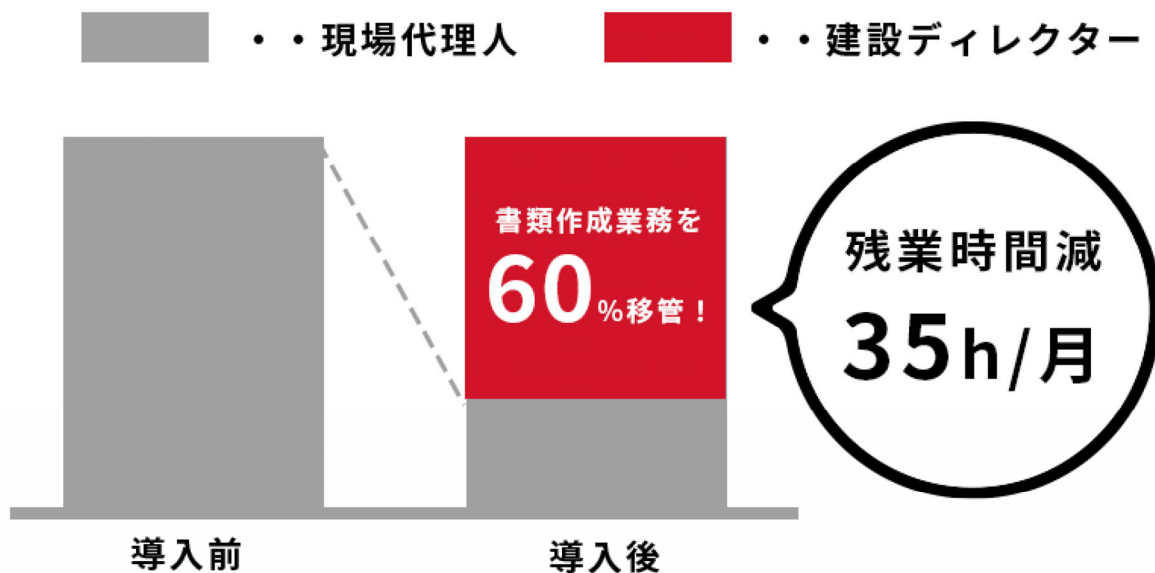
専門スキルを身に付け、工事施工に係るデータの整理及び処理、提出書類の作成やICT業務等を行います。現場とオフィスをつなぎ支援することで、技術者が品質管理や技術の継承などに集中する環境をつくります。建設ディレクターがデジタルとコミュニケーションを駆使とし活躍する姿は、建設業に関わりのなかった人々にも「デジタルスキルを活かせる」と魅力的にうつり、多様な人材の採用につながっています。

「建設ディレクター」は、一般社団法人建設ディレクター協会の登録商標です。（登録番号：第5939693号、第6327912号）

導入効果 EFFECT

01. 技術者の負担軽減

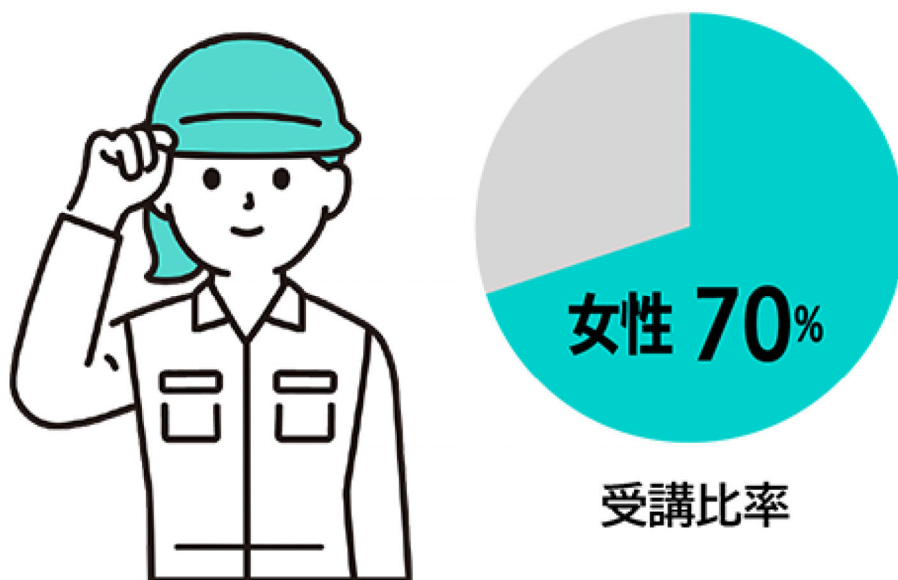
建設ディレクターは技術者とともに施工書類やデータの作成、ICT業務を担う存在です。多岐にわたる技術者の書類業務をワークシェアし、業務の効率化をはかり、個からチームで仕事をする仕組みづくりを進めます。



02. 女性活躍を加速する

建設業界に興味を持って、働きたいと考えている女性はたくさんいらっしゃいます。

そのため、建設ディレクター育成講座の参加者の約7割は女性です。女性が少ない建設業だからこそ、建設ディレクターは期待の職種として、新規雇用の創出のきっかけにもなっています。



03. デジタル人材の成長を支える

建設ディレクターは丁寧に、早く書類を作成するために求められるITスキルを有する人材です。また、ドローン操作や三次元設計など個々の特性を生かすデジタル人材としての可能性も広がります。



04. 若者の活躍を可能にする

企業説明会に参加する学生に「建設ディレクターになりたい」という声が増えてきたという嬉しいお声を企業様からいただきます。建設ディレクター育成講座受講生も20、30代が65%を占めるなど、若手が減少する建設業界において、建設ディレクターは新規雇用のきっかけにもなっています。

建設ディレクターになりたい！



05. 建設業でのキャリアパスが描ける

書類作成のプロフェッショナルとして経験を積む建設ディレクターをはじめ、ICT業務を得意とする建設ディレクター、施工管理に挑戦する建設ディレクターもいるなど、様々なキャリアパスが生まれています。



06. 働き方の多様性が生まれる

ライフイベントの変化にとらわれず、リモートワークで就業継続する建設ディレクターも誕生するなど、ICT活用により多様な働き方が実現しています。また、ダイバーシティが加速するなど、建設ディレクターがもたらす働き方の多様性の効果が生まれています。



07. 職域創出のきっかけ

30年以上にわたる建設企業のITと教育支援に関わった私たちは、全業務のうち60%を占める書類業務に追われて疲弊する技術者の姿を見た時、現場業務と書類業務を技術者一人が担わなければいけないとした結果が長時間労働の慢性化であり、技術者の成長を妨げている一因だと考えました。そこで、技術者を書類業務から開放するためには、書類業務を担う新しい職域（新たなポジション）を創出し、技術者の業務範囲の再設定が必要だと考えました。

その職域こそ、ITとコミュニケーションで現場とオフィスをつなぐ「建設ディレクター」です。

